

1月 食のおたより



令和5年1月10日

福岡県立築城特別支援学校

明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、3学期が始まりました。



今年も、楽しい給食時間となるように、安全でおいしい給食作りを行っていきます。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1月24日から1週間は「全国学校給食週間」です

昭和21年12月24日、第二次世界大戦で中止されていた学校給食が再開されました。このことを記念して、1

月24日から1月28日までの1週間は「全国学校給食週間」とし、学校給食の意味や役割、食について考える期間とされています。

本校では、1月23日から1月27日を給食週間に設定し、23日の全校集会で給食委員会の児童生徒による発表を行います。

1月の給食目標 「感謝して食べよう！」

☆ 作ってくれた人や食べ物に感謝して、3つのことを実行しましょう！



① 「いただきます」、「ごちそうさま」を伝えよう。

② できるだけ、残さずきれいに食べよう。

③ 決められている方法を守って、片づけをしよう。



～1月の給食の紹介～

・24日：福岡県の郷土料理 —ごはん、のり佃煮、筑前煮、豆腐のみそ汁、牛乳—



福岡県を代表する郷土料理「筑前煮」使用する鶏肉に、福岡ブランドの「はかた一番どり」を使用します。米、

豆腐、たけのこ、油揚げ、みかん、牛乳等、福岡県で収穫された食材を多く使用しています。

ぼうさい かんが がつ にち ぼうさいきゅうしょく ひ
防災について考えよう 1月17日は『防災給食の日』です。

へいせい ねん (1995年) の1月17日に発生した「阪神淡路大震災」をきっかけに、1月17日は「防災とボランティアの日」となりました。

じしん ほかに、近年は台風や局地的な大雨などの自然災害が相次ぎ、大きな被害も発生しています。いつ、どんな災害が発生するか分かりません。災害が起きたときに、すぐに炊き出し等による食事の提供が受けられるとも限りません。命を守るために、日ごろから周りの人と災害について考え、準備をしましょう。

さいがい じ しょくじ かんが 災害時の食事について考えよう

さいがい じには、多くの被災者が食べ物がないことへの不安を感じていました。

この状況を救ったのが「炊き出し」で提供された「おむすび」でした。



がつ にち きゅうしょく た だ こんだて 1月17日の給食は「炊き出し」をイメージした献立です！

○ロングキープブレッド（PTAで購入して頂いた長期保存パンで、学校の備蓄品です。

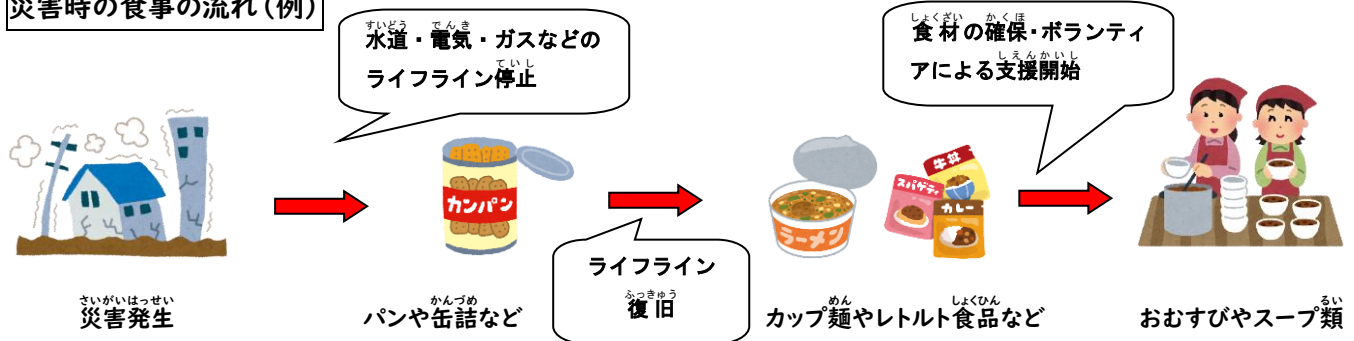
1個あたり400kcal以上ある腹持ちのよいパンです。）

○炊き出しカレースープ ○牛乳

※災害時を想定して、「炊き出しカレースープ」は丼に入れて、スプーンで食べます。



さいがい じ しょくじ なが れい 災害時の食事の流れ(例)



さいがい お 災害が起こったとき、いつもと同じ食事をすることはできません。

まいにち しょくじ 毎日の食事ができていることに感謝し、改めて「命の大切さ」や「食べることができるありがたさ」について考えていきましょう。